

パナソニックお客様ご相談窓口のご案内

お手入れ・お取り扱い・修理・工事などのご相談は、まずお問い合わせの販売店・工事店へお申し付けください。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、以下の窓口にご相談ください。

使い方・お手入れなどのご相談 【受付時間】月～土 9時～18時
(祝日・三が日を除く)

照明器具・ランプ商品ご相談窓口

個人のお客様 **0120-878-051** ※携帯電話からもご利用になれます。
法人のお客様 **0120-187-441**

●上記番号がご利用いただけない場合は
個人のお客様 **06-6780-2550**
法人のお客様 **06-6904-4573**

FAX... **0120-872-460**
<https://sumai.panasonic.jp/support/>

Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03)3256-5444 Osaka(06)6645-8787
Open:9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によって、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
※上記のURLはお使いの携帯電話などにより、正しく表示されない場合があります。

修理に関するご相談 【受付時間】月～土 9時～19時
(日・祝・年末年始 9時～18時)

修理ご相談窓口

フリーダイヤル パナニ イコー **0120-872-150** ※携帯電話からもご利用になれます。
左記電話番号がご利用いただけない場合 **06-6906-1090**

<https://sumai.panasonic.jp/support/repair/>
※インターネットでの依頼も可能です。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただきますののために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします

特典 ●お持ちの家電商品、消耗品情報が一元管理できる！
●登録商品に関するお知らせやサポート情報が入手できる！
●登録者限定のキャンペーンに参加できる！

詳しくはこちら <https://club.panasonic.jp/aiyo/>

※「商品登録」用の製造番号は、本体裏面に貼り付けている白色シールの左側記載の6桁の数字です。

Panasonic

出張修理

照明器具保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	LE-PC06D / LE-PC08D		
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間 (ただし、LED電源・LEDユニットは5年間)		
※お買い上げ日	年	月	日
※お客様	ご住所 お名前 電話 () -	様	
※販売店	住所・販売店名 電話 () -		

(キリトリ線)

パナソニック株式会社 ライティング事業部
〒571-8686 大阪府門真市門真1048 TEL(06)6908-1131(代表)

ご購入店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは…
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。
▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名 () -
電話 () -
お買い上げ日 年 月 日

保証期間：お買い上げ日から**本体1年間**
ただし、LED電源・LEDユニットは5年間です。
※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

本体の修理対応

- 本体を分解して部品交換を行なうことはできませんので、修理対応用に本体交換を行う為の部品(本体完成品)を準備しています。
- 不点などの故障、カバーの破損などが発生した場合は、上記の部品に交換となります。
- 交換した部品には、保証書は付帯しておりませんので、修理交換後も本保証書を保管願います。

補修用性能部品の保有期間 **6年**
*当社はこの照明器具の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。

修理を依頼される時
まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

- 製品名 住宅用照明器具
- 品番 「仕様」を参照ください
- 故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。
●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。
*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

パナソニック株式会社 ライティング事業部

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

© Panasonic Corporation 2020 - 2022

LE-PC06D - T3A1

N1020 - 010422



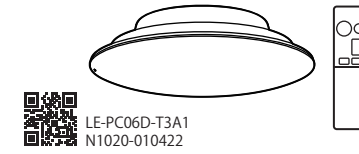
Panasonic®

取扱説明書

保管用

施工説明付き

保証書付き



住宅用照明器具 (LEDシーリングライト)

品番 **LE-PC06D LE-PC08D**

お客様へ このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。特に、ご使用前に「安全上のご注意」(1, 2 ページ)を必ずお読みください。保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ ■施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。
■施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)

	警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。		してはいけない内容です。
	注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。		実行しなければならない内容です。

警告

■天井

- 直径350mmの範囲に配線器具より飛び出している箇所のないこと
落下によるけがのおそれがあります。

(例：下図)

船底天井 格子天井 直径350mm未満に突起がある

■取付面

- 次のような場所には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
- ・補強のない場所 (ベニヤ板や石膏ボードなど)
- ・傾斜した場所

◎この器具は水平天井面取り付け専用です。

■壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。(取り外しには資格が必要です。)

■その他

- 交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。
- アダプタ・本体は確実に取り付ける
感電、落下してけがのおそれがあります。
- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

■配線器具

- がたついたり、破損している配線器具(ローゼット・引掛シーリング)には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
- 適正な状態にない配線器具には無理に取り付け
落下によるけがのおそれがあります。

内装材の重ね貼りなどにより出しろが小さくなったもの
ケースウェイに取り付けられたもの
ローゼット10mm未満斜めに取り付けられたもの
電源端子露出タイプ
既設の取り付けねじ
配線ダクトと引掛シーリングプラグ
がたつき・破損
電源端子

取り付け金具から取り外す

安全上のご注意 (つづき)

必ずお守りください

注意



必ず守る

- 付属の梱包材は取り除いて使用する。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
- ◎ 1年に1回は「安全チェックシート」(5ページ)に基づき、自主点検してください。



接触禁止

- 点灯中や消灯直後は本体やその周辺にさわらないやけどの原因となることがあります。
- ◎ お手入れは電源を切り、本体やその周辺が冷めてから行ってください。



禁止

- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない。火災の原因となることがあります。
- ◎ 器具の真下にストーブなどを置かないでください。

- 点灯したLEDを直視しない。目の痛みの原因となることがあります。

- アルカリ系洗剤は使用しない。強度低下により破損し、感電、落下しけがの原因となることがあります。

- 乳白カバーが破損した状態で使用しない。内部部品に触れると、感電の原因となることがあります。



水ぬれ禁止

- 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない。火災、感電の原因となることがあります。
- ◎ この器具は防湿、防雨型ではありません。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- 必ず壁スイッチを設けてください。
 - ・ 長期使用しないときや、お手入れの際に電源を切ることができます。
 - ・ 点灯に異常が発生したとき、リセット操作に壁スイッチが必要です。
 - ・ リモコンの電池が消耗した場合やリモコンを紛失した場合に点灯消灯ができます。
 - ・ 壁スイッチのOFF→ON操作で点灯状態を切り替えることができます。
- リモコンで消灯した場合は待機時電力を消費しています。
- 取り付け後、振動などにより本体が回転することがあります。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 短時間の停電時、消灯状態から点灯したり、点灯状態が勝手に切り替わることがあります。
- LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお取り替えはできません。

【音響機器、情報機器の影響】

- 器具の近くではラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 3Dテレビ用メガネ、ビデオカメラのモニター、録画などの画像にちらつき、縞模様が発生することがあります。
- 他機器(スマートフォン、タブレット、3Dテレビなど)から出る赤外線の影響により、リモコンが反応しにくい場合があります。

【リモコンの乾電池について】

- リモコンの乾電池は半年を目安に交換してください。ただし、付属の乾電池は器具取付時の動作確認用のため、早く消耗する場合があります。

お手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、本体、リモコンの送信部(送信部)を定期的(6カ月に1回程度)に清掃、点検してください。
- ・ 汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

注意

- ・ 拭き掃除をする時、本体が回転しないよう押さえながら行ってください。回転すると、仮保持状態となり点灯しません。その場合は、本体を押し上げ確実に取り付けてください。
- ☞ 3ページ「各部のなまえと取り付けかた」参照
- ・ 乳白カバーに無理な力を加えないでください。破損したり、本体と乳白カバーの間に隙間ができ、虫・ホコリの侵入を防ぐ効果が損なわれるおそれがあります。

確認

- シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。



仕様

- ☑ カバーのラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。

品番	使用電圧	周波数	消費電力		入力電流	量数
□ LE-PC06D	AC100V	50/60Hz共用	25.6W	リモコンOFF時(待機時状態) 1W以下	0.27A	~6量
□ LE-PC08D			29.3W	常夜灯のみ 約1W		0.30A

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	処置	参照ページ
点灯しない	アダプタの●印と本体のPanasonicラベルと方向を合わせずに取り付け	アダプタの●印と本体のPanasonicラベルと方向を合わせてから取り付け	☞ 3ページ「本体を取り付ける」
	本体の取り付けが不完全で本体が仮保持状態となっている	本体を少し回して水平に押し上げる	☞ 3ページ「本体を取り付ける」
	壁スイッチがOFFになっているまたは、リモコンで消灯にして壁スイッチをOFFにしていた	壁スイッチをONにする、または、壁スイッチを素早くOFF→ONにする	4ページ ☞ 「壁スイッチであたりを切り替える」
勝手に点灯する	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある	壁スイッチをOFFにする	—
勝手に消灯する	「おやすみタイマー」がONになっていた	リモコンもしくは壁スイッチ操作で点灯モードを切り替える	☞ 4ページ
リモコンで操作できない	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	☞ 3ページ
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	☞ 「付属部品」
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを変更して操作する	☞ 4ページ 「器具のチャンネル設定を変更する」
リモコンで操作できない環境要因	他機器から出る赤外線の影響 スマートフォン・タブレット・3Dテレビなどの使用時	赤外線が出る機器をOFFして操作する	—
	リモコンの「送信部」を器具に向けて操作していない	リモコンを手に取り、「送信部」を器具に向けて操作する	☞ 4ページ「リモコンであたりを切り替える」の「送信のしかた」
	リモコン操作位置が器具から遠い	器具の近くで操作する	—
リモコン操作時にちらつく	調光動作をしている	調光(下限付近)動作時、ちらつく場合がありますが異常ではありません。調光動作が終わるとちらつきも止まります。	—
「ビビビビビビ」と音がした後に、「消灯」する	電子ブロックが故障している	電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口にご相談ください。	—

上記の処置を行っても現象が続く場合

- ①電源をいったん切り、約20秒以上経ってから再び電源を入れる
- ②器具の設定をリセットする
壁スイッチをONにして30秒以内に下記の㉔～㉖の操作を行ってください。
㉔ リモコンの「フタ」をスライドさせる
㉕ リモコンの「送信部」を器具に向ける
㉖ リモコンの「チャンネル確定ボタン」と「消灯ボタン」を同時に押す
(「ピッ」と音がして、常夜灯が点灯します。)
- この操作を行うと、器具の初期設定に戻りますので、③を行ってください。また、記憶させていた点灯のあたり、常夜灯の点灯状態も初期設定に戻りますので、再設定が必要です。
- ③器具のチャンネルを設定する
☞ 4ページ
「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

- 上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口にご相談ください。

●<照明器具>安全チェックシート●

※チェック欄が足りない場合はコピーしてお使いください。

安全点検項目	点検結果(該当には○)					処置手順
	/	/	/	/	/	
1. スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。						○印があるときは危険な状態になっていますので使用を中止し故障や事故の防止のためお取り替えをおすすめします。
2. プラグ、コードや本体を動かすと点滅する。						
3. プラグやコードなどが異常に熱い。						
4. こげくさい臭いがする。						
5. 点灯させたときに漏電ブレーカが動作することがある。						
6. コード、ソケット、配線器具に傷みやひび割れ、変形がある。						
1. 購入後、10年以上経過している。						○印があるときはお買い上げ店にご相談ください。
2. カバーなどに変色・変形がある。						
3. 塗装面にふくれ、ひび割れがある。または錆が出ている。						
4. 器具取付部に変形・ガタツキ・ゆるみなどがある。						

上記点検項目以外でも不具合があれば、販売店等の専門家にご相談ください。

【無料修理規定】

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
 - (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には修理ご相談窓口にご連絡ください。
 - (ハ) この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、修理ご相談窓口にご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
 - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 - (ホ) 一般家庭用以外(例えば、業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 修理ご相談窓口は取扱説明書をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただきます。この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

※ This warranty is valid only in Japan.

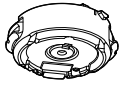
各部のなまえと取り付けかた

安全のため、電源を切ってから行ってください

付属部品

本体取り付け用
アダプタ(1個)

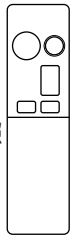
補修品番
NZ2719M



リモコン(1個)

補修品番
HK9494MM

操作方法は、
4ページ参照

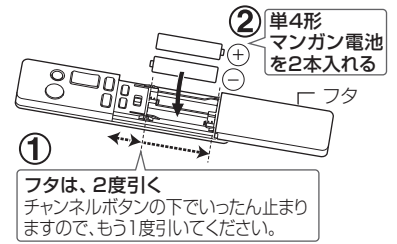


単4形
乾電池
(2本)



●電池の入れ方

リモコン、電池に
記載の注意事項を
守ってください。



確認

- 必ず壁スイッチを設けてください。
☞2ページ「ご使用上に関するお知らせ」参照

取り付け前に、1、2ページの「安全上のご注意」、
ご使用に関するお知らせをご確認ください。

- 配線器具・スイッチの取り替え、取り付けが必要な
場合は、販売店、工事店にご依頼ください。
(工事には資格が必要)

注意 配線器具に取り付ける前に、
本体にアダプタを取り付けないでください。
取り付けができません。

本体を取り付ける

- ①天井の配線器具にアダプタを取り付ける
引掛刃(2カ所)を配線器具のスライド穴に入れる

- ②カチッと音がするまでアダプタを右に回して
取り付ける

確認 ボタン(解除用)を押さずに左に回して
外れないことを確認する

- ③アダプタの●印と本体Panasonicラベルと方向を
合わせる

- ④ガチャと音がするまで本体を水平に押し上げる

確認

- 本体の傾き 本体が傾いている場合
本体が下がっている側を押し上げる
- 器具の点灯 点灯しない場合
本体を少し回してから押し上げる

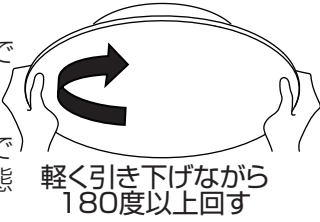
それでも取付完了状態にならない場合は、
本体を取り外して、

☞下記「本体を取り外す」参照
再度①の手順から行ってください。

本体を取り外す

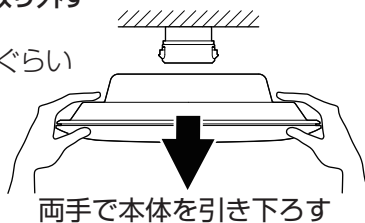
- ①本体を回しロック(取付完了状態)を解除して
仮保持状態にする

本体を回している途中で
段を越える感触があり
仮保持状態となります。
※本体を押し上げないで
ください。取付完了状態
に戻ることがあります。



- ②アダプタから本体を取り外す

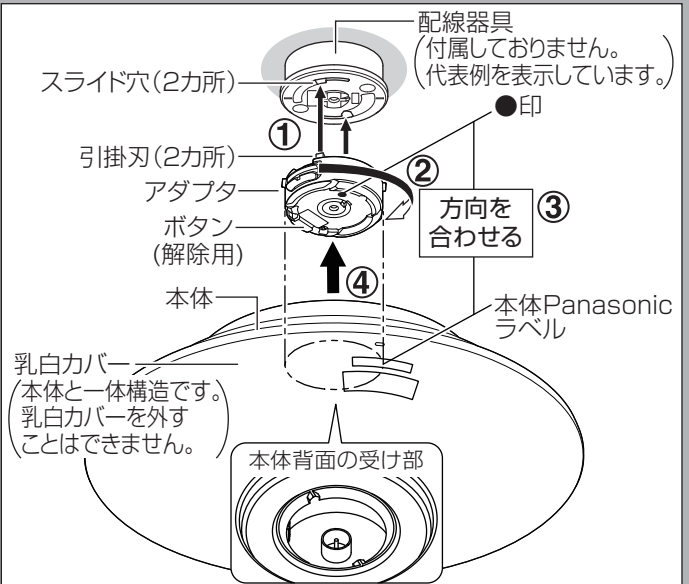
※引き下げる力は、
約5kgのものを持つぐらい
の力が必要です。



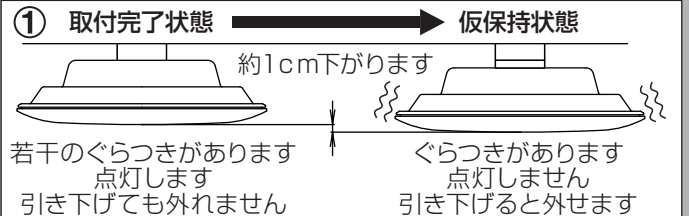
取り付けできる配線器具(下記以外には取り付けできません) 配線器具は本商品には付属しておりません

丸型フル引掛 シーリング	角型引掛 シーリング	フル引掛 ローゼット	丸型引掛 シーリング	引掛埋込 ローゼット	引掛埋込 ローゼット (ハンガーなし)
WG5005 WG5015	WG1000	WG6005	WG4000 WG4420 WG4425 WG1500	WG6000 WG6420 WG6130	WG6001WK

本体にはめ込んで
しまった場合の
アダプタの外し方



本体に傾きがなく点灯すれば取り付け完了です。
取付完了状態でも本体は、若干のぐらつきや回ることが
ありますが、点灯すれば異常ではありません。

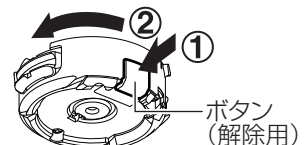


⚠ 注意

- 仮保持状態で放置しない
落下によるけがのおそれがあります。
- 器具が点灯できる状態で無理に引き下げない
器具破損、落下によるけがのおそれがあります。

アダプタを外す

- ① ボタンを押しながら
- ② 左に回す

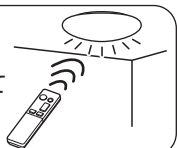


リモコンであかりを切り替える

壁スイッチはONの状態にしてください。
リモコンの「点灯」「全灯」であかりの切り替え、「明暗」で明るさの調節ができます。

送信のしかた

必ず「送信部」を器具に向けて操作してください。



消灯ボタン

送信部

傷ついたり、汚したりしないでください。

点灯ボタン (初期設定: 明るさ約70%)

LEDが前回「明暗ボタン」で調節(記憶)した明るさで点灯します。

LEDの明るさを調光して記憶させる方法

- 1 「点灯」、「全灯」のいずれかのボタンでLEDを点灯
- 2 「明暗ボタン」で明るさを調節 → 記憶

※次回から「点灯ボタン」で調節した明るさで点灯します。
ただし、「明暗ボタン」で明るさを変えると、その都度記憶が更新されます。

明暗ボタン

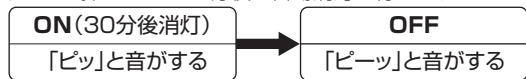
LED(100%~約5%)の範囲、常夜灯(6段階)で明るさを変更できます。

全灯ボタン

LEDが昼光色、明るさ100%で点灯します。

おやすみタイマーボタン

ボタンを押してから30分後に自動消灯を行います。

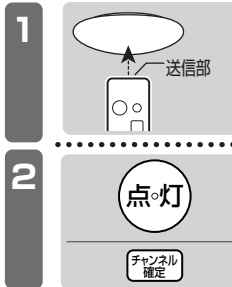


↑ 押すごとに切り替わります。 ↓

※いずれの点灯状態、リモコンによる消灯状態でもタイマーはセットされますが、壁スイッチのOFF時はセットされません。

リモコン操作時の音を消すことができます

壁スイッチをONにして30秒以内に



リモコンのフタをスライドさせてリモコンの「送信部」を器具に向ける

リモコンの「点灯ボタン」と「チャンネル確定ボタン」を同時に押す

※リモコン操作時の音を鳴らす場合は、上記の操作をもう一度行ってください。

常夜灯ボタン(蓄光)

(6段階) (初期設定: 明るさ100%)

常夜灯点灯時に「明暗ボタン」で明るさ調節すると、次回からその明るさで点灯します。
ただし、「明暗ボタン」で明るさを変更すると、その都度記憶が更新されます。
◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

チャンネル確定ボタン・チャンネルスイッチ

同じ部屋で複数の器具を個別に操作したい場合に使用します。

👉 4ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

フタ

「おやすみタイマー」、「チャンネル確定」、「チャンネルスイッチ」使用時にフタをスライドさせます。

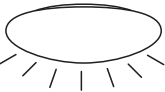
壁スイッチであかりを切り替える

壁スイッチで照明器具を操作できます。

点灯・消灯する

壁スイッチ ON

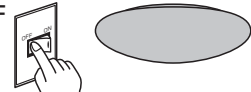
点灯



前回の「点灯状態」で点灯します

壁スイッチ OFF

消灯

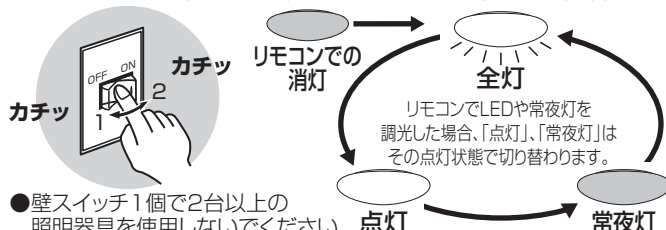


現在(消す直前)の「点灯状態」を記憶して消灯します

- 消灯状態で壁スイッチをOFFにすると、次にONしたときも消灯状態になります。

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く(約1秒以内)OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。

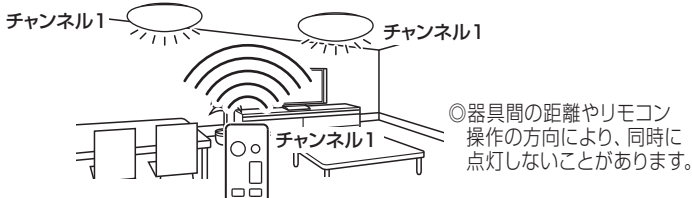


- 壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯・常夜灯の状態が、同時に切り替わらない場合があります。

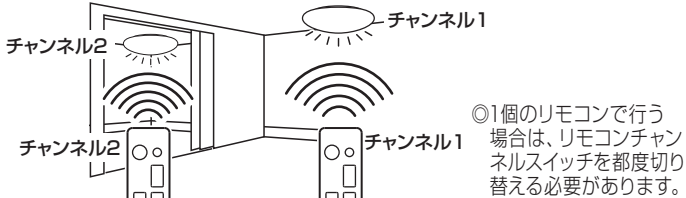
複数のリモコン照明器具を操作する

同時または個別に操作できます。

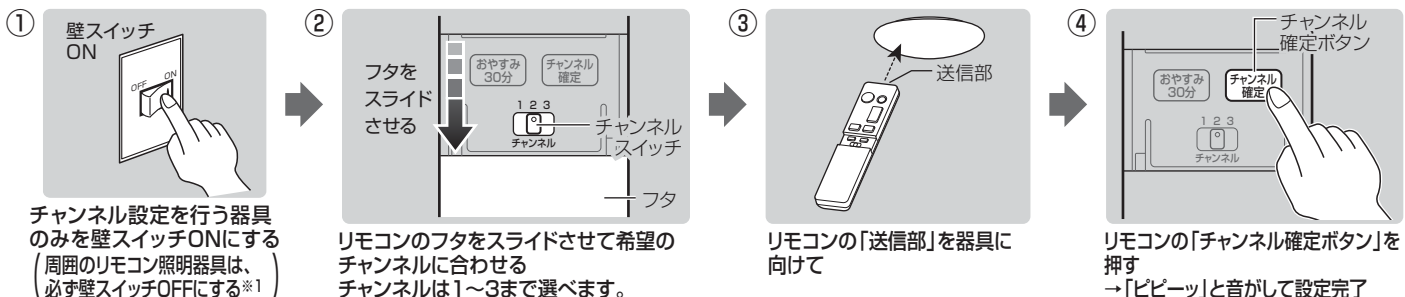
- 同時に操作する (例) 一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合



- 個別に操作する (例) 隣室にもリモコン照明器具がある場合



器具のチャンネル設定を変更する



チャンネル設定を行う器具のみを壁スイッチONにする(周囲のリモコン照明器具は、必ず壁スイッチOFFにする※1)

リモコンのフタをスライドさせて希望のチャンネルに合わせる
チャンネルは1~3まで選べます。

リモコンの「送信部」を器具に向けて

リモコンの「チャンネル確定ボタン」を押す
→「ピーッ」と音がして設定完了

メモ

本製品以外の照明を操作する場合は、チャンネル設定方法が異なります。ご使用の照明器具の取扱説明書をご覧ください。

※1: 周囲のリモコン照明器具が壁スイッチONの場合、その器具もチャンネルが変更されることがあります。リモコン操作できない場合はチャンネル設定が正しくありません。再設定してください。

